

●考 察●

交通量調査から歩行者と車両の駅利用数は朝・夕にピークを迎えるものの、双方に時間的差異が見られたため、これによる車両の渋滞は起こりにくいものと考えられる。

アンケート調査の結果から、歩行者のバリアフリー化を含めた利便性が向上するといった意見が大多数であった。しかしながら、通行車両の利便性が下がり、同時に歩行者・車両双方の安全面を懸念する声が多く挙げられた。そのため、道路横断歩道設置については、慎重な判断が求められるものと考えられるため関係機関とのさらなる協議を重ね検討の必要がある。